

平成26年度 契約監視委員会（第2回）議事要旨

1. 日 時 平成27年3月31日（火）

2. 出席者（回答者）

和田委員長、館委員、島田委員

3. 平成26年度契約監視委員会（第1回）議事要旨について

平成27年1月13日（火）に開催された契約監視委員会（第1回）議事要旨（案）が確認され、了承された。

4. 議 事

（1）平成26年度1月分までの契約について

契約一覧表【資料2】及び契約資料【資料3】に基づき、契約の適正性について点検が行われ、契約手続き等は適正に行われていることが確認された。

（2）一者応札・応報事案フォローアップ票（平成26年度分）による機構として講ずる措置の報告

「一者応札・応募事案フォローアップ票（平成26年度分）」【資料4】に基づき、機構として適切な措置が講じられていることが確認された。

（3）高等教育機関に関する情報の提供と活用のための情報システムの保守契約に係る質問について

前回委員会での質問について、回答【資料5】が提出され、適正な対応がなされていることが確認されたが、以下のとおりの意見があった。

・今後の運用において、利用者のニーズやサービス向上の観点から、システムの改善が求められるかもしれないが、その効果や費用を精査して適切な措置を講じていただきたい。

・今後の運用の中で、さらに費用対効果を確認しながら、適切な契約の内容となるよう見極めを行ってほしい。

一者応札・応募事案フォローアップ票(平成26年度分)

法人名	独立行政法人大学評価・学位授与機構	
案件番号	1	
入札及び契約方式	一般競争入札	
契約の件名及び数量	基幹システムハードウェア保守業務	
契約締結日	平成26年 7月18日	
契約の相手方の商号又は名称等	ネットワンシステムズ株式会社	
入札経緯及び結果	平成26年 5月16日 入札公告	
	平成26年 7月 7日 入札書等提出書類×切	
	平成26年 7月18日 開札	
一者応札・応募の改善取組内容		
改善項目	状況	具体的な取組内容
①仕様書の見直し等	○	仕様策定委員会により策定された仕様書の内容について、本業務を行うための必要な要件と競争性が確保されていることを確認した結果、変更しなかった。
②業務等準備期間の十分な確保	○	準備期間を15日間とし例年並みの準備期間を確保した。
③公告期間の見直し	○	公告期間を例年並みの53日間とした。
④公告周知方法の改善	○	参加が予想される業者に幅広くPRを行うため、官報他、文部科学省ウェブサイトの調達情報のページに掲載し、また当機構ウェブサイトの調達情報ページにもリンクしている。
⑤電子入札システムの導入	×	導入予定はない。
⑥業者等からの聴き取り	○	入札への参加・不参加(不参加の場合はその理由)や改善対策についてのアンケート用紙の配布をした。 配布者数:1者、回収者数:0者
法人における事後点検の結果講ずることとした措置		
一者応札の改善策として、十分な業務等準備期間を確保するなど、現段階で対応可能な方策を全て実施した。		
契約監視委員会のコメント		
入札の結果、一者応札はやむを得ないが、引き続き、実績を踏まえるなどして予定価格をしっかりと算定し、適正価格での契約となるように努めること。		
(法人における契約監視委員会のコメントに対して講ずる措置)		
契約監視委員会の意見を踏まえ、実績を踏まえるなどして、予定価格をしっかりと算定し、適正価格での契約となるよう努める。		
本案件を審議した契約監視委員会の委員		
(委員長)和田 義博、島田 京子、館 昭		

(注)1. 「一者応札・応募の改善取組内容」における「改善項目」は、平成21年7月3日事務連絡「競争契約における1者応札・1者応募についての改善方策等について(依頼)」に基づき各法人で作成した改善方策等を基に、適宜追加すること。

(注)2. 「一者応札・応募の改善取組内容」における「状況」は、取組済の場合は「○」、取組未済の場合は「×」を記載。

(注)3. 本書式は雛形であることから、必要に応じて適宜項目を追加すること。